



元気ハツラツ 南中ソーラン (加茂小中学校運動会)

あかわ *Sakawa* 議会だより

80
2019.11.1

発行 高知県佐川町議会

9月定例会

contents 目次



いい笑顔! (永野保育所運動会)

平成30年度 決算を認定	2
一般質問 10人が問う	
夏休み学校プール開放	11
産廃関連	12・14・17
道の駅	14

9月定例会

平成30年度

一般会計・特別会計の決算を認定

待望のテニスコート完成

9月定例会は、6日から13日までの会期で開かれました。

平成30年度決算の認定のほか、令和元年度補正予算をはじめ、条例改正など議案22件、人事案3件、報告4件を審議し、採決の結果、賛成全員、及び賛成多数で全件可決しました。

一般質問には10人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



新テニスコートでのびのび運動

一般会計

前年に比べ、歳入は1億6千万円余りの減額、歳出は1億2千万円弱の減額となっている。

歳入において、地方税は住民税、たばこ税が減少し、固定資産税が微増となった。また、地方道路交付金、地方創生拠点施設整備交付金、安心安全基盤整備事業補助金等の減により、国庫支出金の減少、県支出金、地方債も減少となっている。

歳出においては、前年度に集落活動センター新築工事、霧生関公園（仮称）建設工事、園芸用ハウス整備工事、臨時福祉給付金等の事業が完了したことで歳出減少となった。

病院事業

事業収支においては、純利益4千万円余りの黒字決算となっている。

年間取扱患者数は、入院患者数約3万3千人、外来患者数約5万8千人となっている。介護老人保健施設の利用者は、4千人強で、デイケア、デイサービスの利用者はさくら荘6千人弱、斗賀野荘6千人弱となっている。

国民健康保険事業

歳入18億円弱、歳出17億9千万円弱となっており、平成30年度も前年度に引き続き繰入基準額以外に一般会計からの繰り入れはなかった。

被保険者は、3162人、世帯数2073世帯。

国民健康保険事業は、平成30年度から、県が県内市町村とともに運営が始まっている。

水道事業

事業収支においては、純利益2千万円余りの黒字決算となっている。

平成29年度から5カ年計画で東元町から富士見町までの基幹管路の耐震化を進めている。

介護保険事業

歳入17億3千万円余り、歳出16億5千万円余りとなっている。

65歳以上第1号被保険者は、4939人。

平成30年度各会計の決算状況

歳出

総額119億5,434万円

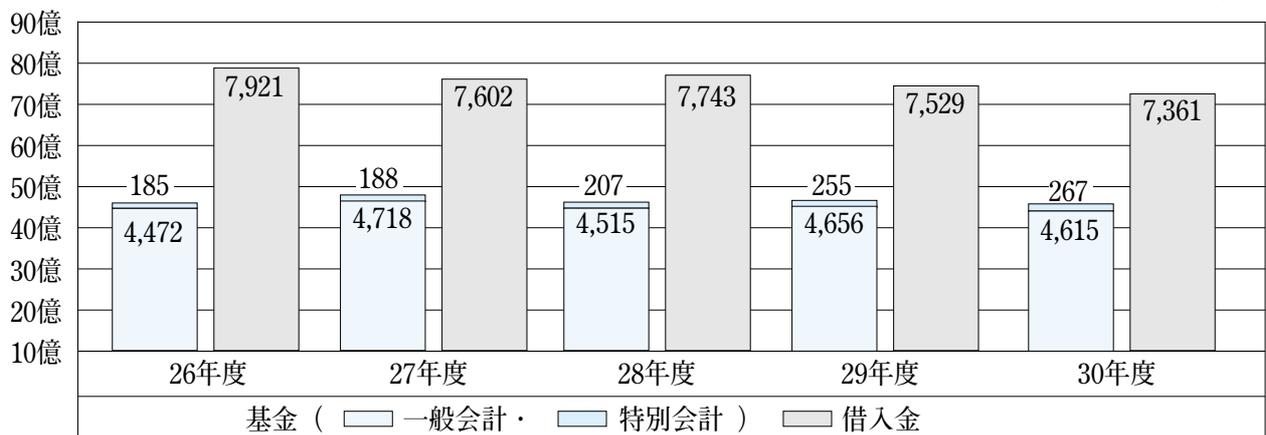
(単位:円)

会計名	決算額				
	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	65億1,284万	63億796万	2億1,076万	380万	
特別会計	国民健康保険	17億9,744万	17億8,695万	0	1,049万
	住宅新築資金等貸付事業	1,246万	1,246万	0	0
	学校給食	5,712万	5,712万	0	0
	農業集落排水事業	2,214万	2,214万	0	0
	介護保険	17億3,193万	16億5,348万	0	7,844万
	後期高齢者医療	2億3,267万	2億2,869万	0	398万
	水道事業	1億7,501万	1億5,458万	0	2,043万
	病院事業	17億7,342万	17億3,097万	0	4,245万
総合計	123億1,502万	119億5,434万	2億1,076万	1億5,959万	

※水道・病院事業特別会計は税抜収益的収支を記載

基金・借入金の推移

(単位:百万円)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

町の基金

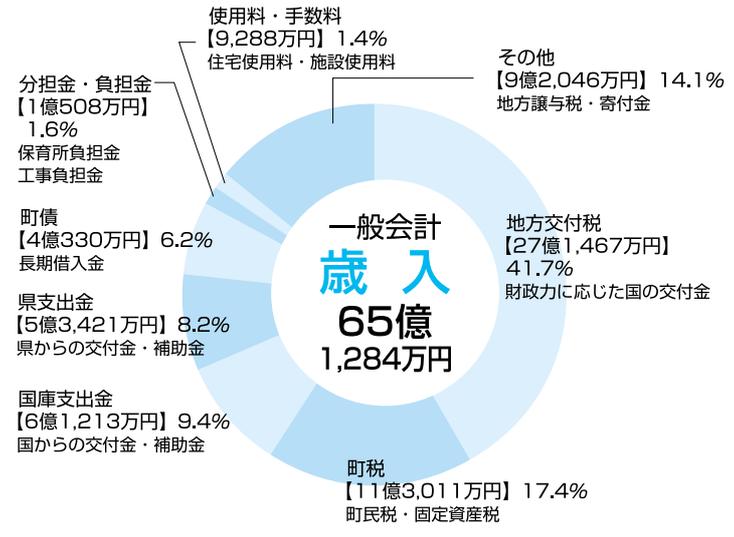
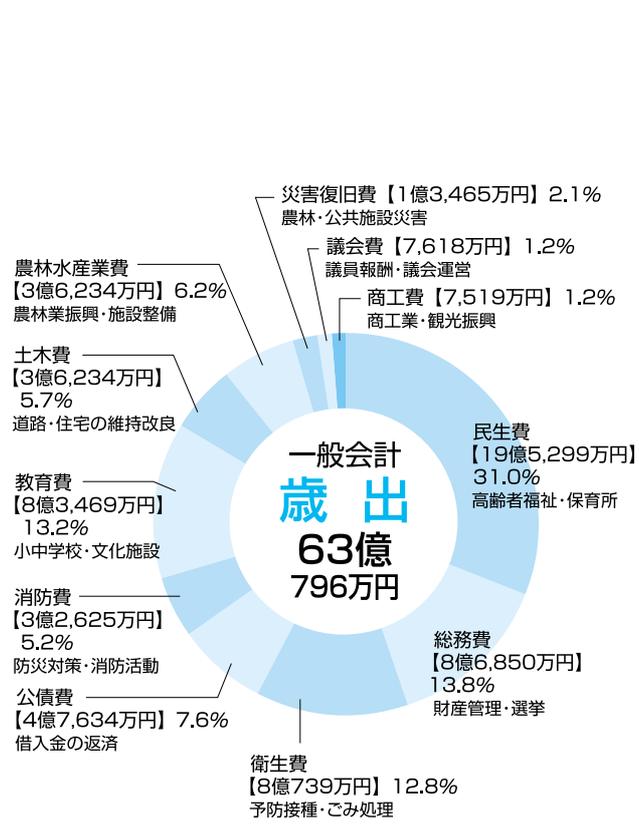
町の基金(積立金を含む)の状況は、平成30年度には3千万円弱減少し、年度末現在高は48億8千万円余りとなっている。

町の借入金

一般会計では、借入金は、4千万円余り減少した。特別会計においては、1億3千万円弱減少。全体としては1億7千万円減少。総額73億円余りとなっている。

どう生かされた？みんなのお金

教育施策を充実



平成30年度の一般会計の状況は、歳入において、地方税は住民税が減少し、固定資産税が微増、たばこ税が減少、全体で約700万円の減少となった。また、地方道路交付金、地方創生拠点施設整備交付金、安心安全基盤整備事業補助金等の減により国庫支出金は減少し、ストックマネジメント事業補助金や園芸用ハウス整備事業補助金の減により県支出金も減少している。地方債も減少している。

歳出においては、集落活動センター新築工事、霧生関公園(仮称)建設工事、園芸用ハウス整備工事、臨時福祉給付金の事業が前年度に完了したことが、歳出減の主な要因である。

監査意見(要旨)

監査委員
上田益英
西森勝仁

未収金の状況は、一般会計、特別会計を含めると、不納欠損額約267万円で、前年度から約91万円増加し、収入未済額は、4781万円で前年度から約645万円減少している。

自主財源の確保は言うまでもなく、負担公平の原則からも滞納の防止と回収を図り、安易な不納欠損処分を余儀なくされる事案が発生することが無いよう収納業務の継続的な努力を期待する。

今後は、財政状況を踏まえ、投資のバランスを図りながら、必要な財源を確保し、住民の負託と信頼に応えるべく、計画的、効率的かつ効果的な行政運営が推進されることを要望して監査報告及び意見とする。



この事業に議会が

注目

9月定例会で平成30年度の決算認定がされました。平成30年度に実施された事業の中で議会が注目した事業を紹介します。



地域住民による地域づくり、活性化のための拠点となる集落活動センターにおいて多様なイベント等が開催されており、集落支援員と共に、それぞれの地域の特性を生かした取り組みが展開されている。

地域づくり事業・集落支援員事業

2,584万円



お助け大作戦（斗賀野あったか）

地域福祉の拠点として、斗賀野、尾川、加茂、黒岩地区にあったかふれあいセンターを設置し、集い・交流・訪問・生活支援などに取り組んでいる。

あったかふれあいセンター事業

3,412万円

教育研究所費

2,262万円

教育に関する調査研究及び教育関係者の研修等を実施する機関として教育研究所を設置した。ふるさと教育の進展や不登校対策への体制づくり等に取り組んでいる。



完成したテニスコート

町内のテニス人口の増加に伴い、新たにテニスコート2面とその周辺の駐車場等を整備した。小中学生のクラブ活動をはじめ、幅広い年齢層の方に活用されている。

町民テニスコート整備事業

1億855万円

平成30年度 決算質疑

平成30年度

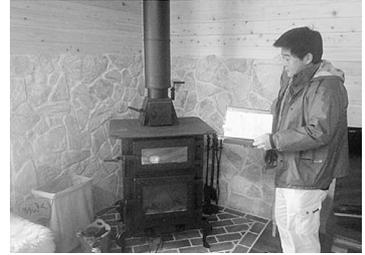
一般会計決算

木質燃料利用促進 補助金について

中村議員 4台の新ストーブの補助は予算内か。材料に困っている人に協力隊などから提供できないか。

産業建設課長 4件で申請が少ないので予算額に達していない。ただ薪ストーブ等として、家庭用の薪ストーブ、風呂用の湯沸かし器の実績を含め、一定の成果はある。今のところ協力隊は薪作りを行っている。今後やっていけるなら、取り

組みを進めたいと考える。



薪ストーブの設置状況

中村議員 新教育研究所長の人事は。

町長 今年度中は、教育長が教育研究所所長を兼務する。

介護保険特別会計 決算について

下川議員 平成30年度保険者機能強化推進交付金は点数で評価されると聞いている。佐川町は422点で全国平均411点を上回っている。点数による交付金の増減はあるのか。
点数採点の要素として、健康づくり、介護予防の取り組みが介護保険の軽減につながっていくのか。

で、今後も努力を重ねてもらいたいと思うがどうか。

健康福祉課長 全体の満点が612点で、点が高いほど交付金額が高くなると聞いている。

町としてできることを今後も続け、新しいことも考え取りくんできた。

平成30年度佐川町 病院事業特別会計 について

橋元議員 一般療養病床数の変更で純益4200万円がでた経過の説明を。

病院事務局長 診療報酬改定に伴い、療養病床48を40に減らし、地域包括ケア病床を6増床し、リハビリ中心の治療で住宅等への復帰支援を充実したことで評価を受け、予想をはるかに上回る収益アップになった。

旧黒岩中央保育所の エアコン請負工事費 について

西村議員 エアコン請負工事費を何に使っているのか。

チーム佐川推進課長 25万円の旧黒岩中央保育所エアコン工事は、ものづくりのアーティストの作業場の夏の劣悪な環境を改善するために、補正予算として上げた。



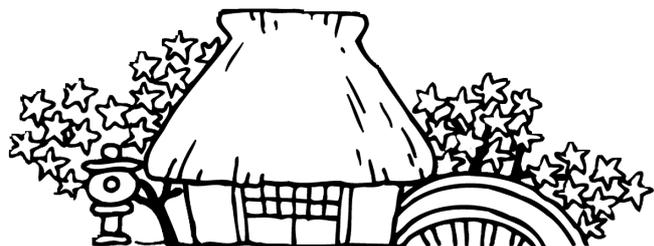
旧黒岩中央保育所

議案第63号 佐川 町営住宅管理条例 の一部を改正する 条例について

松浦議員 今回、町営住宅の連帯保証人が2人から1人に改正されている。来年からは民法の改正により、この保証人が保証する極度額(上限額)を設定しなければその効力がないとされている。

しかし、上限額を設定すれば、住宅困難者がさらに保証人を確保することが困難になることが予想される。このため国は、保証人を削除した標準案例案を通知しているが佐川町ではどうなっているのか。

総務課長 国からの通知は承知している。しかし保証人がいるということでは未納の抑止力となっていることもあり、2人から1人にした。ただ、今後においては連帯保証人



の確保が困難な人については別途要綱を整備し、民法施行までに免除することを検討中である。

町長 極度額については早急に協議し、9月末までには決定する。

9月 補正予算 ピックアップ

令和元年9月補正予算 (単位：円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		2億622万	70億4,544万
特別会計	国民健康保険事業	940万	19億4,402万
	介護保険事業	3,934万	18億7,657万
	後期高齢者医療事業	398万	2億4,104万

9月定例会で決まりました

商工観光振興 総務費

7000万円

プレミアム付商品券事業のチケット換金に係る業務費用の補正。

農林水産業施設 害復旧事業

4450万円

被災した農業用施設の測量設計委託料及び復旧工事に係る費用の増額補正。

未熟児養育医療費 等助成事業

4200万円

未熟児養育医療該当新生児に係る医療費用の補正。



移住促進事業

912万円

移住者住宅改修補助金の申請見込み件数の増加により増額補正。

条例改正

佐川町営住宅管理条例の一部改正

連帯保証人の人数の変更及び民法の一部を改正する法律の改正に伴い、条例について所要の改正を行う。

人事

佐川町教育委員会 教育長

濱田 陽治 氏
吾川郡いの町天王北1
丁目6番地3

人事案質疑

西森議員 なぜ町内の人から選任しなかったのか。文教のまちを自認している堀見町長だが、町内には町長の眼鏡にかなう人材はいなかったのか。堀見町長 これからのふるさと教育を進めていくには、町内の人も含め検討したが、やはり濱田氏が最適と思った。

佐川町教育委員会委員

岡村 建介 氏
佐川町本郷耕2135
番地1

固定資産評価審査委員会委員

永田 満子 氏
佐川町加茂1773番
地1

令和元年度 補正質疑



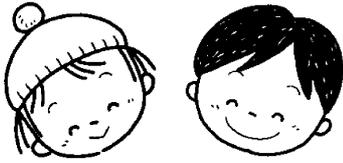
西森議員 ホームページの委託料として約96万円補正してあるが、これはどのようなスパンで更新しているのか。また金額は業者のいわゆる言い値ではないのか。
農業振興費の消耗品費に150万円計上されているが、こんな多額の消耗品とは一体何か。またなぜこの時期なのか。
社会福祉費の30万円の備品購入費とは何を指すのか。

チーム佐川推進課長 ホームページのリニューアルは何年に1回とかは決めていない。今回は、デザインや操作、利用のしやすさを改善するため。また、見積もりは複数業者から取っている。消耗品の150万円には、自伐型林業に従事する協力の安全性を確保するための装備品である。
健康福祉課長 30万円は福祉避難所の備品購入費で、投光器、毛布、マットなどを購入する。

反対討論

議案第66号保育関連の条例の一部を改正する条例

坂本議員 今まで同時入所の第2子と多子世帯の3番目の子どもの給食材料費、保育料が無料であった。改正案では有料になる家庭がでる。県内34市町村で給食材料費を徴収するのはわずか6市町村だ。子育てしやすい町づくりを目指してきた施策を後退させるので改正案に反対する。



議員各位の意思表明

賛否表(令和元9年9月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
平成30年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町水道事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度佐川町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	-	○	○
佐川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
字の区域及び名称の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度佐川町水道事業特別会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町固定資産評価審査委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

10人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

交通弱者対策

取り組む考えある

町長 3年、5年後考えたい

「くるくる」バスの停留所まで行けず、利用したくてもできない、交通手段がなくて困っておられる方々への支援を、今後取り組む考えがあるのか。堀見町長 財源的なことでも踏まえて、当面は行政が行う今の公共交通のありかたで、運営を進めていきたい。その後、3年、5年たったあと、抜本的に考えないといけない時期が来た時に、しっかりと考えたい。



町内最大の投票所 かわせみ

投票所への移動支援

取り組むべきだ

選挙管理委員会事務局長 検討したい

今のところ、移動期日前投票所の設置をしないというのだが、それを

カバーする、投票所への移動支援を行うべきだ。くるくるバスを利用し、各地区内の移動支援として巡回させるなど、知恵と工夫を生かして、投票環境向上へ取り組むべきだ。麻田選挙管理委員長 新たな取り組みについて、特に取り組んでいることはないが、議員の言った参考事例、他の事例を参考にしながら、今後、検討していかなければならないと考えている。

食品ロス削減・推進計画

具体的に取り組むべきだ

町長 推進計画は策定する

「食品ロス削減推進法」が5月に成立した。この法律では、努力義務ではあるが、市町村の推進計画の策定を求めている。本町においても、この計画の策定、食品ロス月間・削減の日の事業、フードバンクへの支援など、具体的に進めるべきだ。

堀見町長 推進計画は、国の基本方針、県の計画が示された後に、策定する方針だ。食品ロス月間・削減の日、フードバンクについて、本年度は何かするということはあるが、具体的な計画を立てていく中で、位置づけていくことになると考えている。



買った食品はしっかり食べよう！



西森 勝仁 議員

人とカネ、無駄の多い町政運営 愚の骨頂か

町長 適切に経営する

堀見町政に対する疑問の声は多い。職員も毎年増やし続けて、もはや庁舎いっぱい。課の統廃合により余剰職員も出ている中、次々と採用するよりも採用した職員を一人前に育て上げるのがまず先決。また、役場前に

らりと並べてある公用車。3年前は69台この事であったが、一体、今何台あるのか。手入れやメンテナンスはどうか。また、ぐるぐるのバスの時刻表が全戸配布されたが、不要な人が大半で、もったいないとの声が多い。このように人とカネ、両面で無駄の多い町政運営は愚の骨頂ではないか。
今後、スリムな町政運営にかしを切ってほしいと思うがどうか。
堀見町長 時代の流れの中で、定型業務はA-1での処理がどんどん増えると思うが、福祉や健康の増進など、人が関わる仕事も増えている。職員を育成しながら町民のため、人と予算についても適切に経営する。
麻田総務課長 公用車は121台。各課で適切に管理し、年末に一回洗っている。

町道青去2号線

改修舗装はできないか

産業建設課長 全面改修舗装する



ずらっと並んだ公用車

ふるーつ村から青去を走って諏訪神社のほうへ走っている道は、路面がここほこで自転車などが通行するには大変危険で

ある。これでは、道路管理者の責任が問われかねない。町民が転倒して大けがをする前に改修舗装ができないものか。
田村産業建設課長 舗装の基本方針は、損傷の状況を点検し、また路線の重要性や交通量を勘案して決定している。
この路線は国道から延長約1kmあり、住宅も隣接しているので来年度に全面改修舗装に着手する。

ラジオ電波町内全域を受信エリアに

町長 現時点では、特に考えていない

ラジオ電波が入らない。災害時に電源が喪失した時は、テレビや携帯電話は使えないので、情

何とかがラジオが聞けるようにならないものか。
堀見町長 時代に即した情報手段は必要と思うが、現時点では、中継アンテナを建てる等の対策は特に考えていない。

報源がない。頼りになるのは、電池1本の携帯ラジオだけ。ラジオは平常時には、つけっ放してもニュースあり、歌あり、笑いありと家の中が明るくなる。独居老人の家を訪問したときも、ラジオが鳴っていれば声をかけやすい。



危ない！段差のある路面（青去）

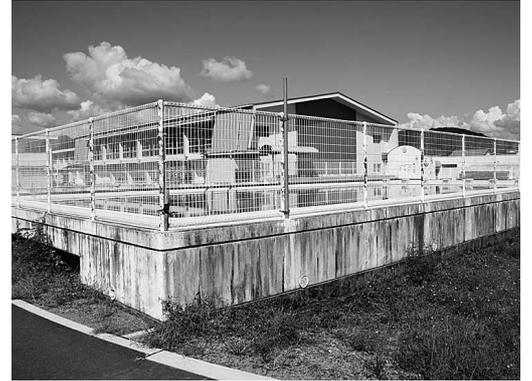


坂本 玲子 議員

消費税増税に伴い、3歳児の保育料が無償になる。しかし所得により給食材料費を負担する家庭が出てくる。県内でたったの6市町が給食材料費を徴収する。これでは「子育てしにくい町」になる。消費税はずっと続く。3年間

保育給食材料費徴収 再考すべき

町長 **今は考えていない**



夏休みもプールで泳ぎたい!

保育料を無償化しても、消費税支払いで、2年で国に吸収される。

今までやっていいた多子世帯3番目以降の子はずっと無料、同時入所の第2子無料の保育施策を続けても、年75万円ほどで出来る。

また、実際に今までより負担が多くなる家庭がある。給食費徴収は再考すべきではないか。

堀見町長 佐川町では保育料以外で様々な子育て施策を実施している。

給食材料費徴収に関して再検討するということを今は考えていない。

夏休み学校プールの開放 教委主体で検討を

教育長 **条件整備に取り組む**

今年度斗賀野と黒岩小学校が夏休みのプール開放を中止した。事故があった場合の責任がPTAになることが要因だ。

① 教育委員会主催とし、しっかり責任がとれる体制作り

② 安全を確保するマニュアル作り

③ 町が監視員を派遣する方向で教育委員会が主体となり検討すべきだ。

川井教育長 プール開放は心身の健全な成長に効果的である。また子どもの居場所づくりにもなり、教育的価値がある。

各学校やPTAと共に、プール開放を可能にするための条件整備に取り組んでいきたい。

あったかスタッフ 賃金改善を

健康福祉課長 **見直し進める**

あったかのスタッフの日給は他の市町村と比べて低い。会計年度任用職員並みに、月給制にしてボーナス支給、各種手当や退職金についても同等とすべきと思うがどうか。

健康福祉課長 あったかは地域福祉の拠点として成果を上げている。

あったかスタッフについては来年度から役場臨時職員の賃金体系が変わるので、県内の状況等も勘案しながら見直しを進めていく。



地域で活躍するあったかスタッフ



橋元 陽一 議員

町営住宅条例の 改定内容は

総務課長 連帯保証人を一人に

町営住宅の入居条例の改定内容として、保証人を必要とする理由、法的根拠はどうか。
また保証人の免除規定と提示の仕方を検討しているか。

麻田総務課長 現行の連帯保証人を2人から1人とし、入居要件を緩和する。

引き続き連帯保証人を求めるのは未納への抑止と入居者が亡くなった後の措置などがあるため。法的な根拠はない。

保証人免除規定の対象は60歳以上、一定以上の障害者、ひとり親世帯、DV被害者、犯罪被害者家族の方等を考えており、募集案内や入居者説明会で周知していく。

新産廃受け入れ 庁議の決定は

町長 最終的に私が決めた

新産廃の受け入れについて、庁議でどのような議論をして決定したのか。また法曹界で見解が分

かれる確認書に法的拘束力はあるのか。

6月16日に配布した町の確認書案に進入道路のルート変更を加えた経過は。

堀見町長 庁議でいろいろ意見を聞き、受け入れは最終的に私が決めた。庁議の合意を得て決めるものではない。

確認書の法的拘束力はあると考えている。

中澤副町長 ルートの再検討の住民の声は早い段階での説明会で出ており、佐川町案に追加した。

集活センターを 個人演説会場に

選挙管理委員会事務局長 検討する

町選管が指定している町内の個人演説会場はどこか。
有権者が利用しやすい町内4カ所の集落活動センターを個人演説会場に指定することを検討せよ。

麻田選挙管理委員長 公職選挙法に基づき、町内小中学校、高校、中央公民館と桜座の9カ所を指定している。
集活センターの指定については、地元の意見を聞いた上で検討していく。

その他の質問
学子での児童生徒質問
調査の結果等について



だれもが入れる町営住宅に



大いに活用したい集落センター



森 正彦 議員

平成30年度決算を総括して、計画した事業は実施できたか。健全な財政運営はできているか。堀見町長 平成30年度の総括は、教育研究所の立

平成30年度 決算の総括は

町長 概ね予定通り遂行

ち上げと合わせて今後の教育の作り込みの調査、研究をしっかりと確実に行った。

また第五次総合計画の中で、集落活動センター、あつたかふれあいセンターの事業で地域の皆さんが地域を支える取り組みができています。

テニスコートの整備、防災対策、社会基盤の修繕、維持管理も適切に事業を行い概ね予定どおり事業遂行ができました。

財政運営は、交付金、交付税を活用し適正な財源運営ができています。



もしもに備えて 自家発電

災害時の 電源喪失対策は

病院事務局長 自家発電機を稼働

ことは想定しておかなければならぬ。命の危機に関係する高北病院の対策はできているか。

また、町水道、災害対策本部となる役場庁舎の対策は出来ているか。

渡辺高北病院事務局長 自家発電装置2機を設置、10秒以内で稼働できる。燃料、水は3日分、医療品は7日以上は備蓄がある。

田村産業建設課長 5カ所ある水道取水施設のうち、新室原の取水施設に非常用発電機を設置し、岩井口排水池に送る。そこから非常時には、仕切り弁を操作し、必要な箇所に水を送る。

燃料は27時間連続運転が可能だ。麻田総務課長 移動式小型発電機がある。

来年度役場庁舎の非構造部材等の耐震改修工事を予定しており、合わせて非常用発電機を設置する予定だ。

龍王公園トイレ 改修すべき

総務課長 立て替えていきたい



改修が待たれるタコ公園トイレ

龍王公園は子どもに人気のある公園で利用者も多い。しかしトイレが水洗ではなく清潔に保つのが難しいうえ、危険でもある。水洗トイレへの改修をすべきだ。麻田総務課長 整備以降30年近く経過し、老朽化が進んでいる。来年度から建て替えに向けて予算化を考えている。合わせて公園全体の改修も進めていきたい。



中村 卓司 議員

道の駅 開業はいつ

町長 開業まで3~4年

町長は、今議会の中で霧生関の町有地に道の駅を開設すると報告があったが、その中身や開設時期はいつになるのか。岡崎チーム佐川推進課長 中身は基本構想を検討するワークショップで話



霧生関の道の駅予定地

し合われており、運営に関わる組織、団体の方々や食や農産物の販売、加工、流通に直接関わる方々、生産者も含め、行政職員、観光協会の職員等25名で進めている。四万十ドラマ睦地社長にも参加してもらい、コーディネートしてもらっている。堀見町長 開業については、国の予算がつけば、早ければ3年後、遅くとも4年後には開業したい。

産廃 振興策金額は

町長 町が良くなるため上積み

加茂産廃施設の振興策として総金額としてどの程度を考えているのか。堀見町長 県の方からは日高村において地域振興策として実施したもの、

防災・防犯対策 十分か

産業建設課長 対策を進めている

日高村に単独で使える予算として県が用意した予算、その同程度で、まずスタートとしては考えておいてくださいと言われている。長竹川の氾濫対策河川改修には、かなりの金額が必要であるが、これは県の事業である。対策事業は県が行う事業と、町が行う事業があり事業費としていくらかは言いづらい。ただ加茂地区の皆さんが良くなる、佐川町全体が良くなる為にも事業費の上積みしていきたい。

佐川町の防災対策としてライフラインの中で道路、水についての対策を聞く。

また防犯灯設置についても聞く。

田村産業建設課長 町道内の橋は、現在355カ所ある。拠点の避難所と方防の拠点に行く町道にかかる比較的長い橋の対策を今進めている。

役場前の佐川橋は耐震化終了。柳瀬川の柳瀬橋

尾川の井領橋は順次実施予定。

水道の管路については水道管、送水管、排水管がある。まず基幹管路の耐震性をあげることがを実施している。全長130キロメートルありそのうち27%が耐震性がある管となっている。

防犯灯については要望の出ている所を検討中である。



振興策の対話もしっかりと



宮崎知恵子 議員

災害地域の被災状況、情報収集にカメラ付きのドローンの起用としてはどうか。土木関係、森林管理、佐川町観光PR等、活用できると思う。

防災対策に ドローン活用を

総務課長 取り組んでいく

麻田総務課長 自伐型林業で、ドローンを一台リースしており、施業完了後の写真を森林ICTのデータに反映することの可能性などを検討している。
災害時にも利用可能と、いつかこの秋、産業建設班も操作説明を受け、災害現場のほうでも活用するよう取り組んでいく。

骨髄移植ドナーへの 助成制度導入を

健康福祉課長 助成制度を検討

提供手術のドナーに、一定期間住民税10%減税をしてはどうか。

若い健康で善意にあふれる方の人口が増える。佐川町は助成制度も導入していないが、今後予定は。
森田税務課長 地方税法第6条における、不均一課税の要件に当てはまらないので減税できない。
田村健康福祉課長 高知県では補助事業があり、県下10町村が補助金の交付要綱を策定している。
佐川町でも登録者36名、平成25年に1名の提供があった実績もあり、助成制度について検討したい。



ドローンには様々な可能性が

教科書の採択 公表は

教育長 今後ホームページで

教科書採択の手順及び委員会の構成の公表はしているか。



教科書は学びの基本

また坂本龍馬など、歴史的偉人を歴史教科書から消す事についてどう考えるか。
川井教育長 高知県には8の教科書の採択地区があり、佐川町は10の教育委員会で組織する高岡地区教科用図書採択協議会に属している。採択には、全員一致が基本だが、多数決できめている。
教科書採択期間は4年間で採択したときは議事録を公表する努力義務はあるが、佐川町では公表していないため、今後、ホームページで公表したい。
坂本龍馬や吉田松陰など歴史上の偉人が、削減対象になっているが、副教材を活用し、独自に地域の偉人などについて勉強することは大切で、佐川町では、ふるさと教育の検討委員会を立ち上げているのでしっかりと子どもたちに教えていきたい。



邑田 昌平 議員

町職員数増 なぜ必要か

町長 定員管理計画は適正

県の資料によると、佐川町の職員数は、平成19年度までは減少して216人で最少になっている。しかし、他の自治体と比べると減少の割合が少ないがなぜか。それ以後、今度は増加

傾向にあるが、特に平成28年度から30年度にかけては11名の増となっているが、なぜ増員が必要となったのか。

堀見町長 以前の町政は少数精鋭主義で、もともと職員数が少なかったため減少率も少なかったのではないかと思っっている。定員管理計画を立て適正に採用をしている。

麻田総務課長 増員した職員は、一般職が3名、加茂小中学校の給食が町に移した事で1名、高北病院の医師や事務職の補充で10名の増となった。一方、水道と介護保険会計で計3名の減。差し引き11名の増となった。

職員人件費 将来推計はどうか

総務課長 中長期計画を策定して実施

減らせとの事。このことから、町財政に占める人件費の将来推計はどうか。麻田総務課長 人件費は中長期計画で策定してやっているが、5カ年計画では、令和2年度が歳出総額に占める割合は11.9%、3年度が11.7%という見通しである。

この度、財務省が公表した地方自治体の職員数は、これからの人口縮小にあわせると令和7年までには3万人減らせるとのこと。これは、人工知能などを活用して事務の効率化を図り、職員を



職員数多いか少ないか

再任用と新採職員 どのように整理

総務課長 再任用職員は定数外

定年退職する職員は無収入期間がないように、雇用と年金の接続を図るため、再任用されている。再任用は、職員の能力や経験を有効に活用できる一方、若い人を採用したほうが活性化につながるとも言われている。

しかし、毎年再任用と新採の両方で増え続けている職員数には大変危惧しているが、再任用制度の運用と新採計画はどのように整理しているか。

麻田総務課長 再任用職員は、定数外となるため新採職員との関連については整理していない。平成29年度の再任用は8名、30年度が11名、31年度が7名、新採は29年度が4名、30年度が8名、31年度が7名である。



幸せなまちづくりの先頭に



下川 芳樹 議員

処分場建設に向けた県のタイムスケジュールで、長竹川の改修の見通しなど具体的な日程の質問が住民からあった。

長竹川の改修 計画前倒しで進めよ

町長 県と協議し、提言する

目に見えて地域の環境がよくなったと感じるのは、長竹川の改修である。計画を前倒ししても進めてほしい。

堀見町長 日高村では放水トンネルも含め、排水計画に基づいた工事が進んでいる。日高村がよくなり、佐川町加茂地区の長竹川がよくなり、地域の皆さんが安心して暮らし、農業に臨めるためにも、長竹川の改修はしっかりと県で実行してもらおう。町も県と協議しながら意見、提言もだしていきたい。



しゅんせつ工事ははじまったが・・・

振興策は痛みを一番抱える 加茂地区へ

町長 第一に加茂地区のことを

町が地元の要望を受けて実施できる振興策は、県民全てが抱えるべき産廃施設の痛みを、一番多く抱える加茂地区へ活用するよう強く求める。

堀見町長 第一に加茂地区のことを考える。その後、町の総合計画に位置づけられている道の駅、図書館を考えている。道の駅は地元からの要望もあり、長竹地区の霧生閣に整備し、地域振興・物産販売等皆さんに喜んでもらえる道の駅にしたい。図書館の整備も基本構想づくりを進めている。

振興策等検討 自治会支援体制を

町長 町が責任を持って行う

今後、町が地元の意見を取りまとめるためには、地域振興策等の内容を検討するため自治会や自治会長の協力が欠かせない。しかし毎年交代する自治会長にとって複雑な業務が多すぎる。具体的な地元自治会への支援体制を。

堀見町長 振興策にかかわる地元の声の取りまとめは、自治会に任せるのではなく、行政で主体的にやってほしいとの願いがあった。自治会長に負担の掛からないよう町で取りまとめ、案を作った意見をさらに文書化するなど、町が責任をもって行いたい。



せまい町道、振興策で改修を



西村 清勇 議員

黒岩小学校入口 看板必要

教育次長 来年度対応

ほかの地域ではあまり学校という看板は見えないが、黒岩の場合は、以前は一本道で県道を通れば、わかる場所にあったがバイパスがつき小学校がわかりにくい。東側に郵便局があるがその手前の入り口に看板をつけたい。



黒岩小入口

片岡教育次長 黒岩小学校の位置については、県道柳瀬越知線が新しく開通したことにより、地域外からの訪問者にとって黒岩小学校の入り口がわかりにくい状況となっている。PTAのほうからも案内的な看板設置の要望がある。体育館、校舎は地域防災計画で拠点避難所にも指定されている。またグラウンドも臨時の緊急用ヘリコプター着陸場に指定されているため看板設置は必要と考える。郵便局入り口付近とJA黒岩事業所の西側の2カ所を考えている。来年度予算で対応したい。

黒岩中央保育所入口 看板必要

健康福祉課長 来年度設置予定

黒岩中央保育所は高台にある関係で保育所を訪ねてきた人はわかりにくいと言っている。県道との入り口に看板がつけれないか。



黒岩中央保育所入口

どこの入口だ！

荷稻小富士団地 販売は

総務課長 契約に至っていない

荷稻小富士団地の販売チラシを見た。チラシ配布後、何区画契約があったか。当初からいくら値下げしたのか。

麻田総務課長 この折り込みチラシの実施後、実際売買契約に至ったものは、現在ない。1名の購入希望者からは、問い合わせがあり購入に向けて話を進めている状況。値下げ価格については、最初土地開発公社のほうがやっており、当初の価格は確認して報告する。



売れたらいい小富士団地

田村健康福祉課長 新園舎になって見学の来訪者や、初めて保育所に来る業者など目印となる標識がないために、苦慮することがあると聞いています。設置場所の調整や予算のことがあるので来年度で設置できるよう費用の見積もりも取るなどして準備をしていきたい。

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.50



町営住宅保証人等の見直しを

(平成30年12月定例会)

連帯保証人を2名確保ができない場合でも入居できる条件整備を求める。

(橋元議員)

関連質問 (坂本議員)

総務課長 答 弁

検討する

保証人については、平成30年2月の国の通知を踏まえ、法人や人数について検討する。

令和元9月定例会で条例改正

令和元年9月定例会において佐川町営住宅管理条例の一部改正が議案として提出され、可決。連帯保証人2名から1名に変更等所要の改正が行われた。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月6日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集 後記

一年生議員として、折り返し点となりました。議員としてどうあるべきか自問自答の毎日です。議会だよりは、本会議の傍聴、また議会懇談会、議員それぞれが行う報告会等に参加できなかつた方々に、よりわかりやすくまとめて編集しております。先輩の編集委員に学びながら、カメラを掲げて地域の皆さんの意見を聞きながら、町内を飛び回っております。

これからも懸案事業である道の駅、図書館、また産廃振興策の長竹川の改修の進展なども、年4回の広報で伝えていきます。

宮崎 知恵子

議会広報編集委員会

委員長	下川 芳樹
副委員長	西森 勝仁
委員	坂本 玲子
委員	宮崎知恵子
委員	橋元 陽一

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる



大崎さん、竹内さん、田村さん

今回は、尾川あつたかふれあいセンターひまわりのコーディネーター田村美喜さん、スタッフ大崎昌子さん・竹内沙織さんにお話を伺いました。

尾川あつたかふれあいセンターひまわり

「ひまわり」はいつから始めましたか。

佐川町で一番早く、保育所を拠点として平成21年10月開所しました。今年で11年目になります。

どんな活動をしていますか。

集いは集落活動センター1たいこ岩で行っています。高齢者の居場所づくり・健康づくりの取り組みや独居高齢者等への見守り訪問を行うことで、住み慣れた尾川地区で安心してくらしをけるように支援しています。

活動の特徴は何ですか。

今年度、特に力を入れているところは、尾川各地区へ園児と共に訪問して交流し、子どもたちの元気な声と可愛い笑顔を地域の方々に届けています。子どもたちとの交流に喜びの声が聞かれます。



地域の方々と子どもたちでクリーンキャンペーン



みんなでカレーランチ！おいしい！

集落活動センターとのつながりはどうですか。

小中学校が代休の日には、カレーランチ・焼きそばランチ・バーベキュー等を集落活動センターと連携して実施し、子どもたちの居場所づくり・孤食対策にも取り組んでいます。

車のステッカーが人気と聞きましたが。

今年4月にひまわりの車が新しくピンクの車になり、地域の方々に今まで以上にひまわりや職員のことを知ってもらおうと、似顔絵ステッカーを作ることになりました。この似顔絵は尾川中央保育園の職員作です。職種は違いますが、園内で顔を合わせているので特徴をよくつかんでいて、利用者さんからもとても好評です。



まっこと、よう似いちゅう？！



迎えに行くき、まちよつてよ！

ステッカーに書かれている「まちよつてよ」はひまわりの花言葉のひとつである「待っててね」を土佐弁にしたものです。この車で送迎や訪問に伺いますので、尾川地区の皆さん「待ちよつてよ！」

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。